

交通基盤部道路局 再評価 箇所一覧

【再評価案件】

事業名	箇所名
道路改築事業	一般国道 136号 雲見～松崎工区
道路改築事業	一般国道 150号 志太～榛南バイパス
道路改築事業	一般国道 150号 志太～榛南Ⅱバイパス
道路改築事業	一般国道 301号 利木拡幅
道路改築事業	一般国道 362号 青部バイパス
道路改築事業	一般国道 414号 須原拡幅
道路改築事業	一般国道 469号 山宮バイパス
道路改築事業	主要地方道 富士富士宮由比線
道路改築事業	一般県道富士由比線 新々富士川橋



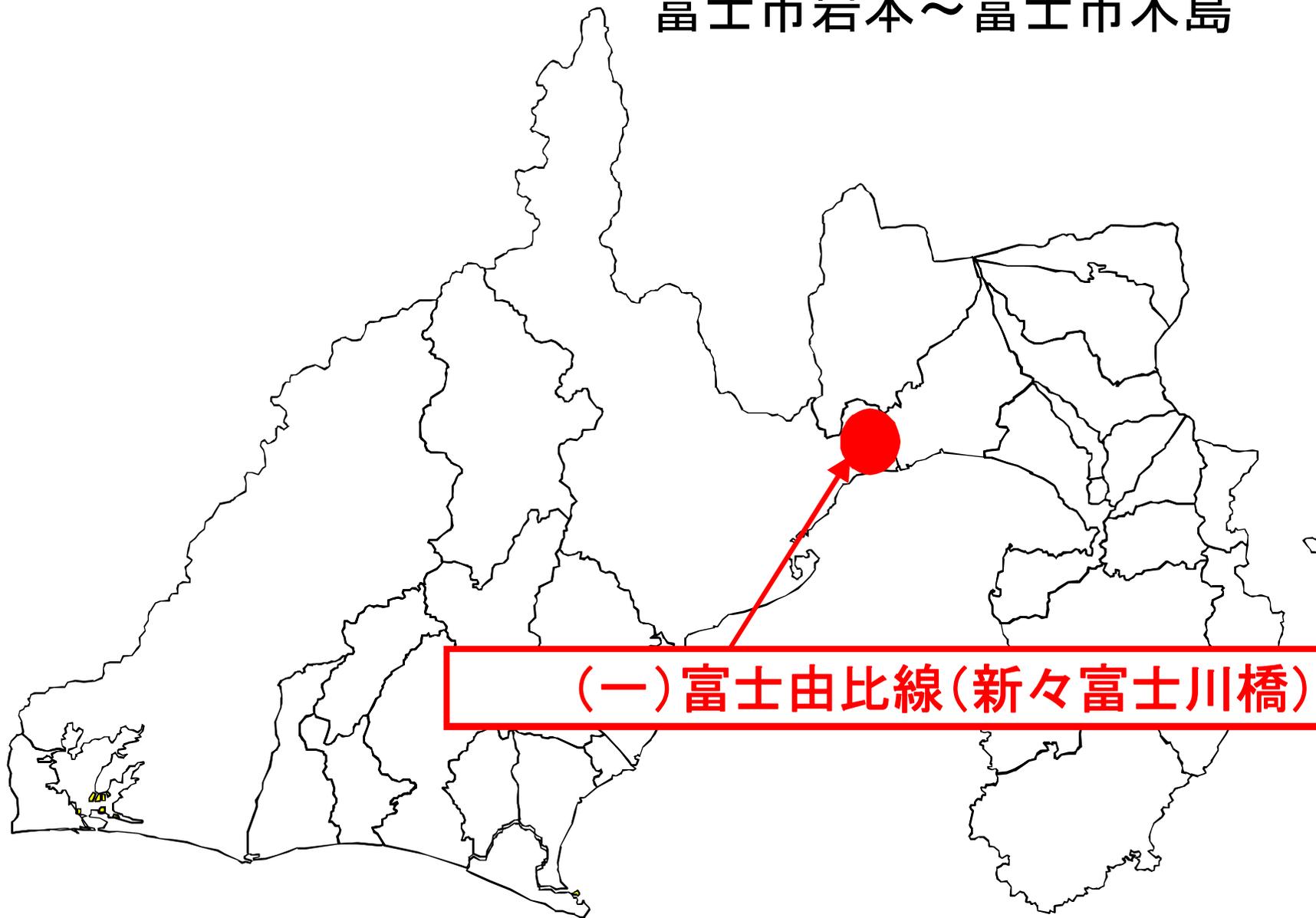
平成28年度 公共事業再評価(道路事業)

一般県道富士由比線(新々富士川橋)

交通基盤部 道路局 道路整備課

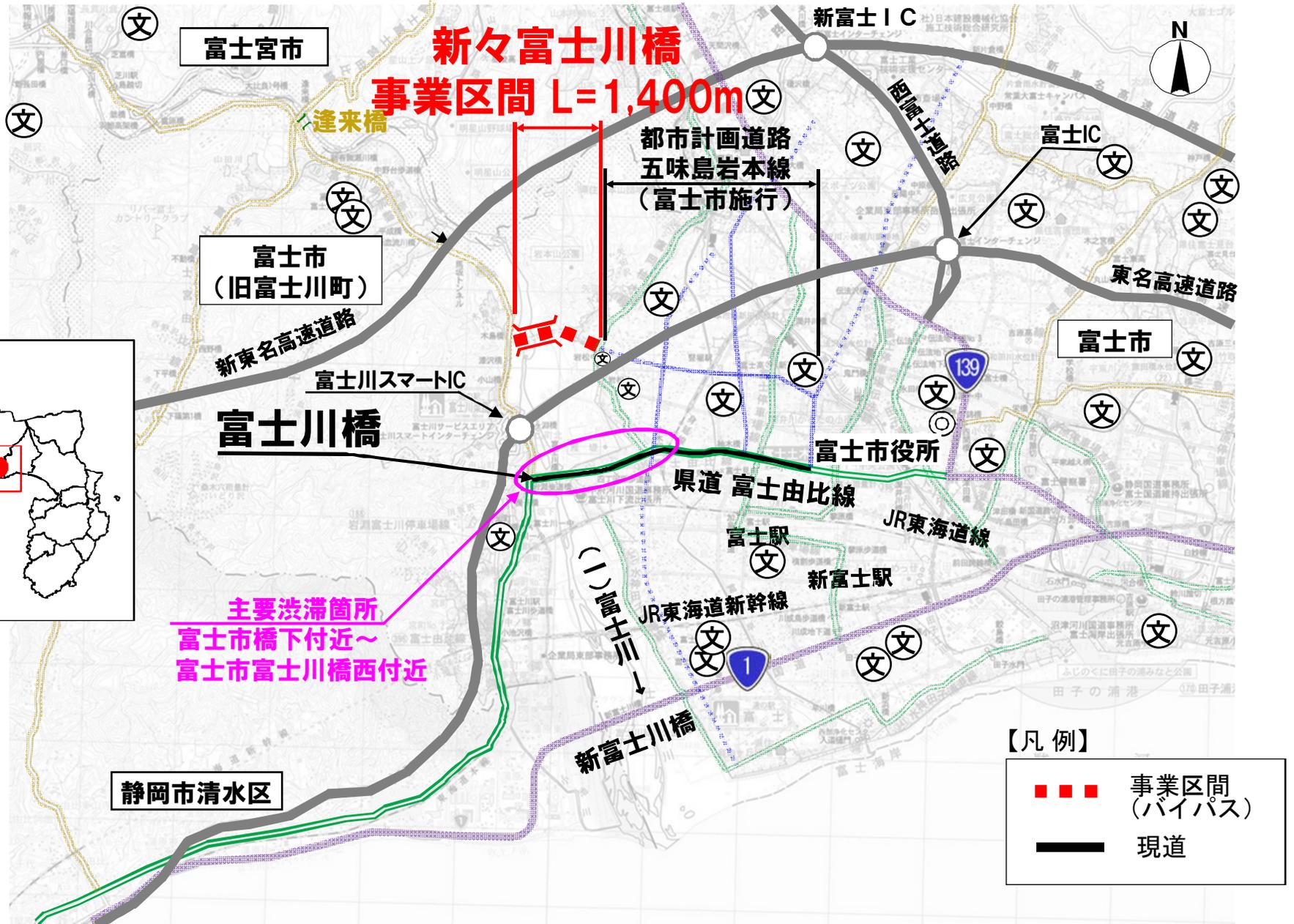
1. 事業箇所位置図(広域)

富士市岩本～富士市木島



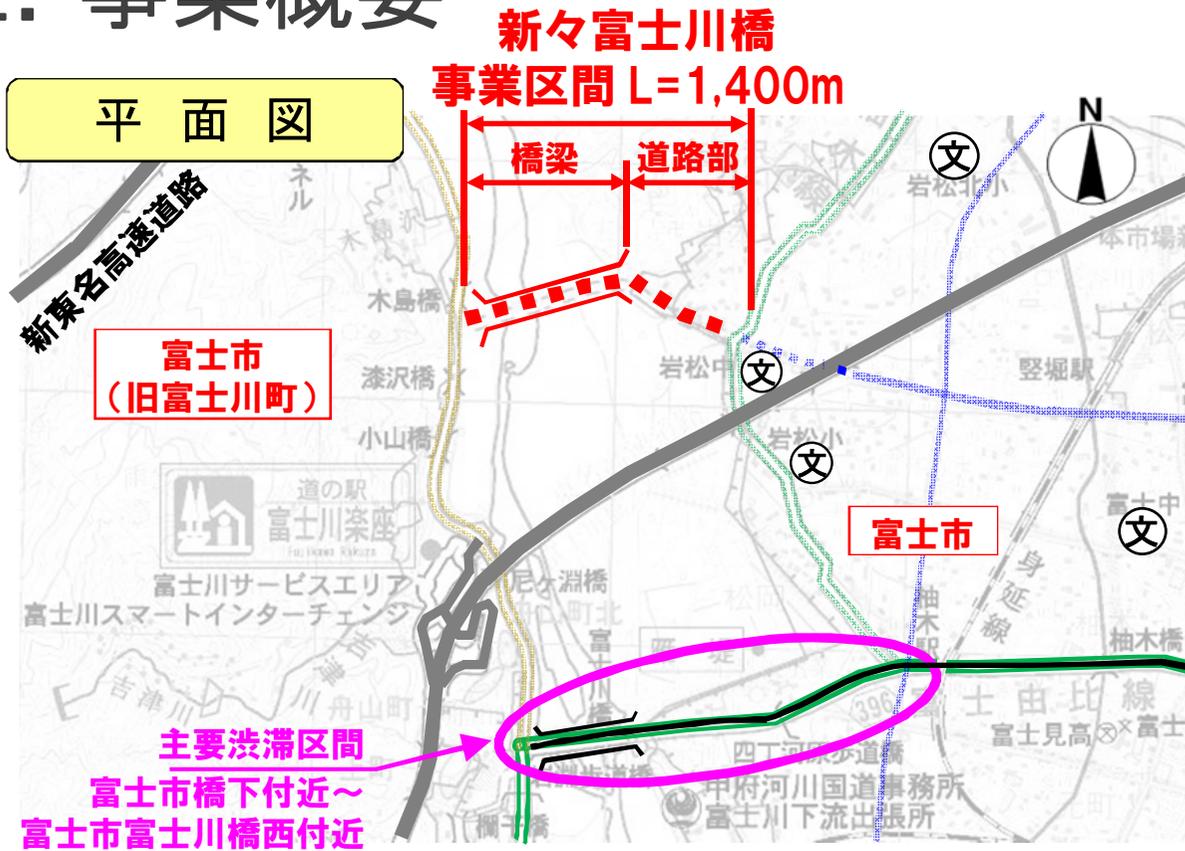
(一) 富士由比線(新々富士川橋)

1. 事業箇所位置図(詳細)



2. 事業概要

平面図



- 【計画内容】**
- ・事業期間:平成14年度～平成33年度
 - ・事業延長:1,400m
 - ・道路幅員:車道6.5(全幅14.0)m
 - ・車線数:2車線
 - ・全体事業費:11,000百万円

【凡例】

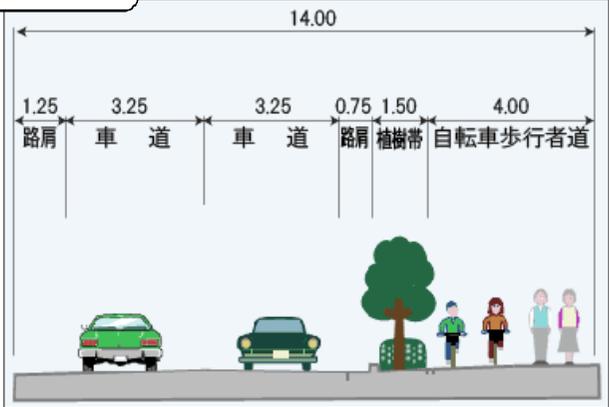


横断図

橋梁部



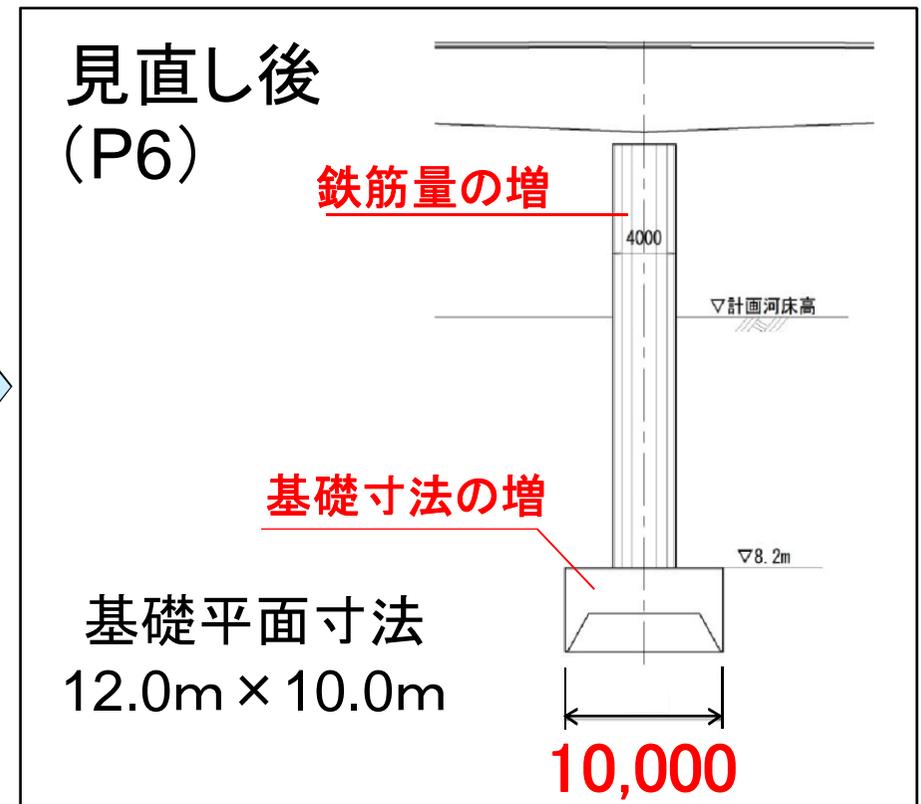
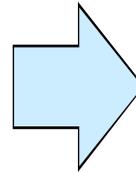
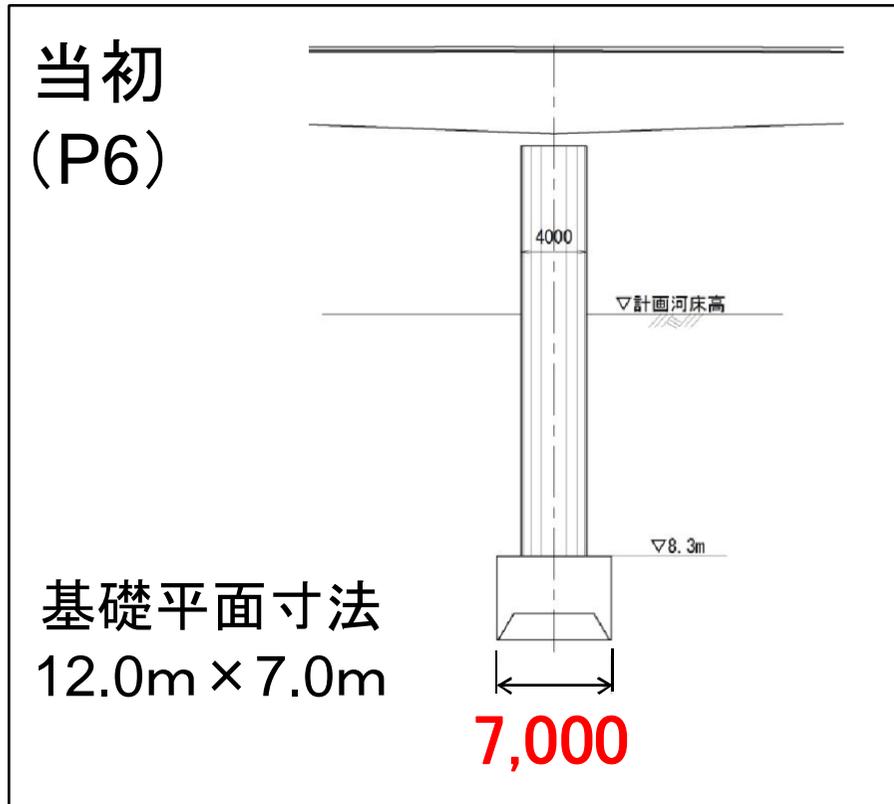
道路部



4. 事業費変更

【要因①】 道路橋示方書の改訂に基づく橋梁下部構造の見直し

- 道路橋示方書の改訂により、設計地震力が増加したことから、橋脚6基の基礎寸法が大きくなり、また、橋脚柱の鉄筋量が増加した。



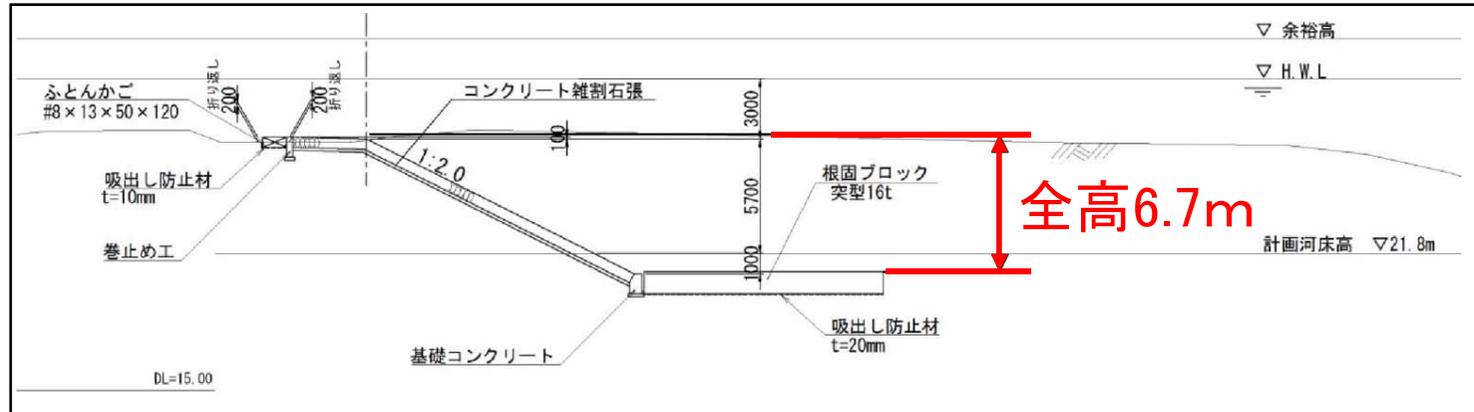
(約13億円増)

4. 事業費変更

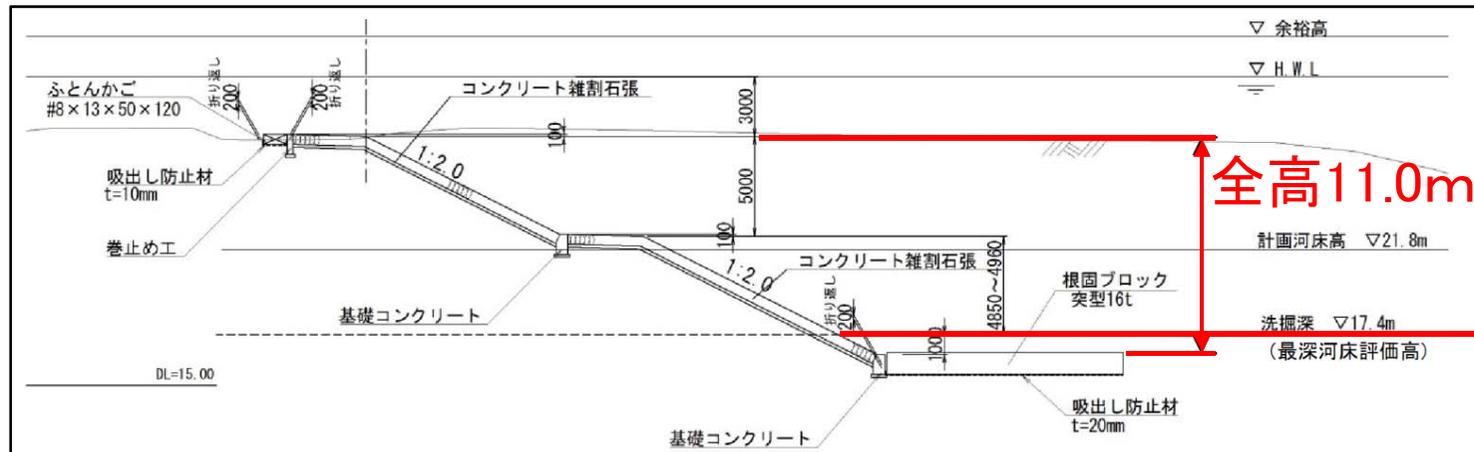
【要因②】 河川協議の追加条件による護岸構造の見直し

- 河川管理者から、洗掘を考慮した最深河床で設計するよう、追加条件が付与され、**護岸基礎工の根入れが深くなった。**

当初



見直し後



洗掘深

(約7億円増)

5. 事業の投資効果(費用対効果)

	今回(H28)	前回(H23)
総費用(C)	96億円	70億円 (現在価値換算)
事業費	96億円	71億円
維持管理費	0.50億円	0.45億円
用地残存価値	-0.62億円	-1.2億円

	今回(H28)	前回(H23)
総便益(B)	196億円	191億円 (現在価値換算)
走行時間短縮便益	157億円	156億円
走行経費減少便益	35億円	28億円
交通事故減少便益	4.3億円	6.8億円

	今回(H28)	前回(H23)
費用対効果(B/C)	2.03	2.71

5. 事業の投資効果

○(B/Cに現れない効果)

【効果①】

○地域内交流の円滑化

【効果②】

○公共交通の利便性の向上

【効果③】

○防災基盤の強化

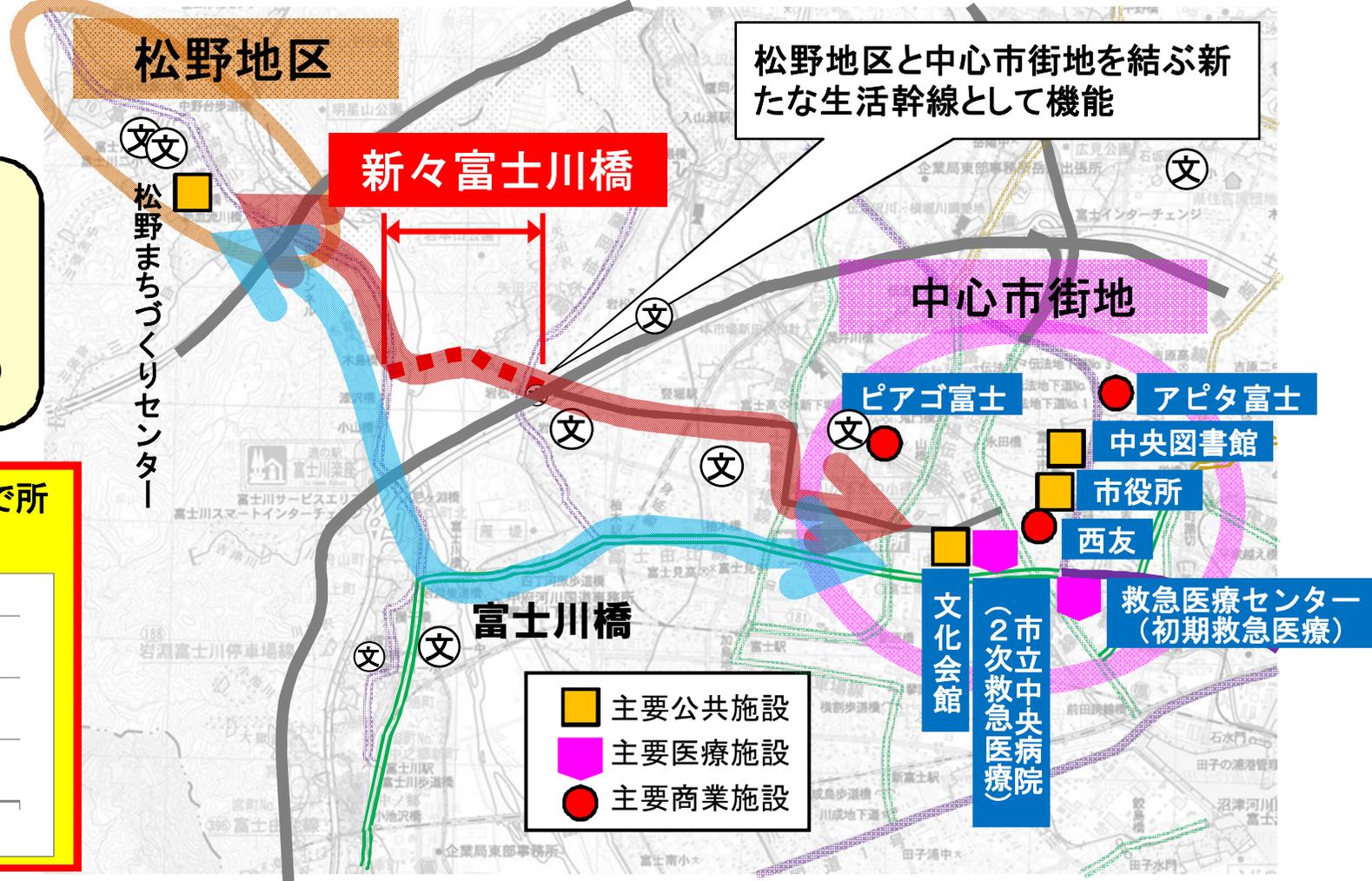
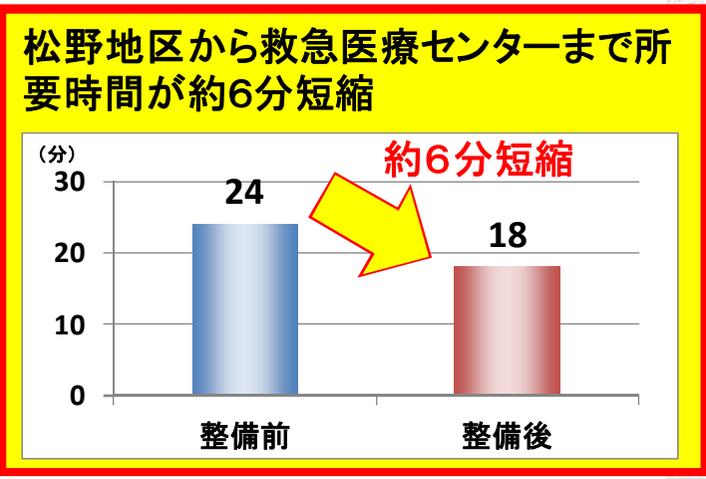
5. 事業の投資効果(B/Cに現れない効果)

1 地域内交流の円滑化

- ・松野地区と中心市街地とのアクセスが強化され、生活利便性が向上するほか、救急医療時の搬送が迅速化

● 地域の声

- ・富士川橋は、通勤時の渋滞が激しく、地域生活に支障をきたしており、早期の完成を期待しています。(平成23年3月 ヒアリング結果)



5. 事業の投資効果(B/Cに現れない効果)

2 公共交通の利便性の向上

- ・富士川橋西交差点の渋滞の緩和により、バスの定時性が向上

富士宮方面

新々富士川橋

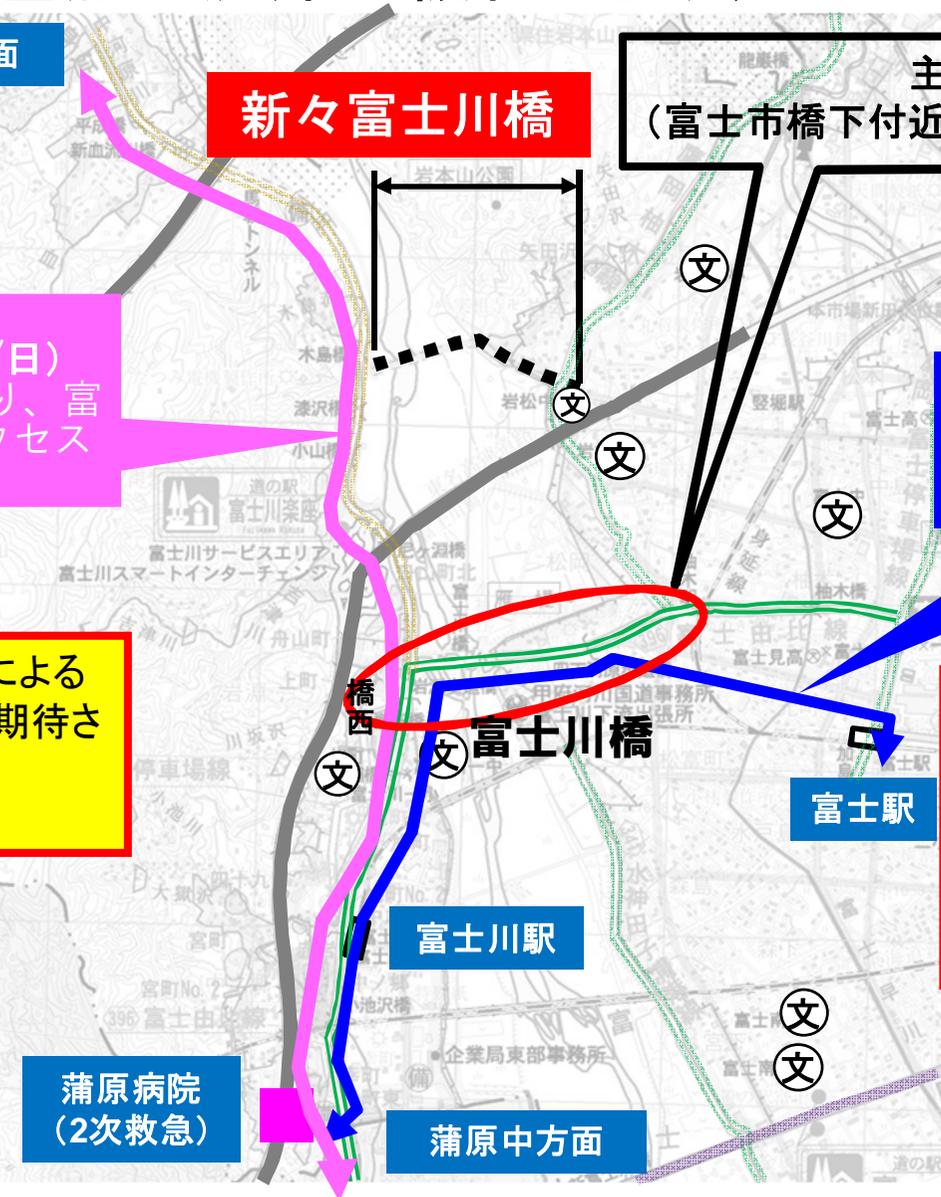
主要渋滞区間
(富士市橋下付近～富士市富士川橋西付近)

●山交タウンコーチ(株)
: 富士宮駅～蒲原中 (16～17本/日)
・松野地区唯一の公共交通であり、富士川駅、蒲原病院への主要アクセスとして機能

●富士急静岡バス(株)
: 富士駅～蒲原病院 (7往復/日)
・富士駅と富士川駅周辺市街地、蒲原病院等を連絡

・富士川橋西付近の渋滞の緩和による定時性の向上と利用者の増加が期待される。
(平成28年3月 ヒアリング結果)

・富士川橋の渋滞の緩和による定時性の向上が期待される。
・富士川橋通行止め時に、新々富士川橋への迂回交通が可能となる。
(平成28年3月 ヒアリング結果)



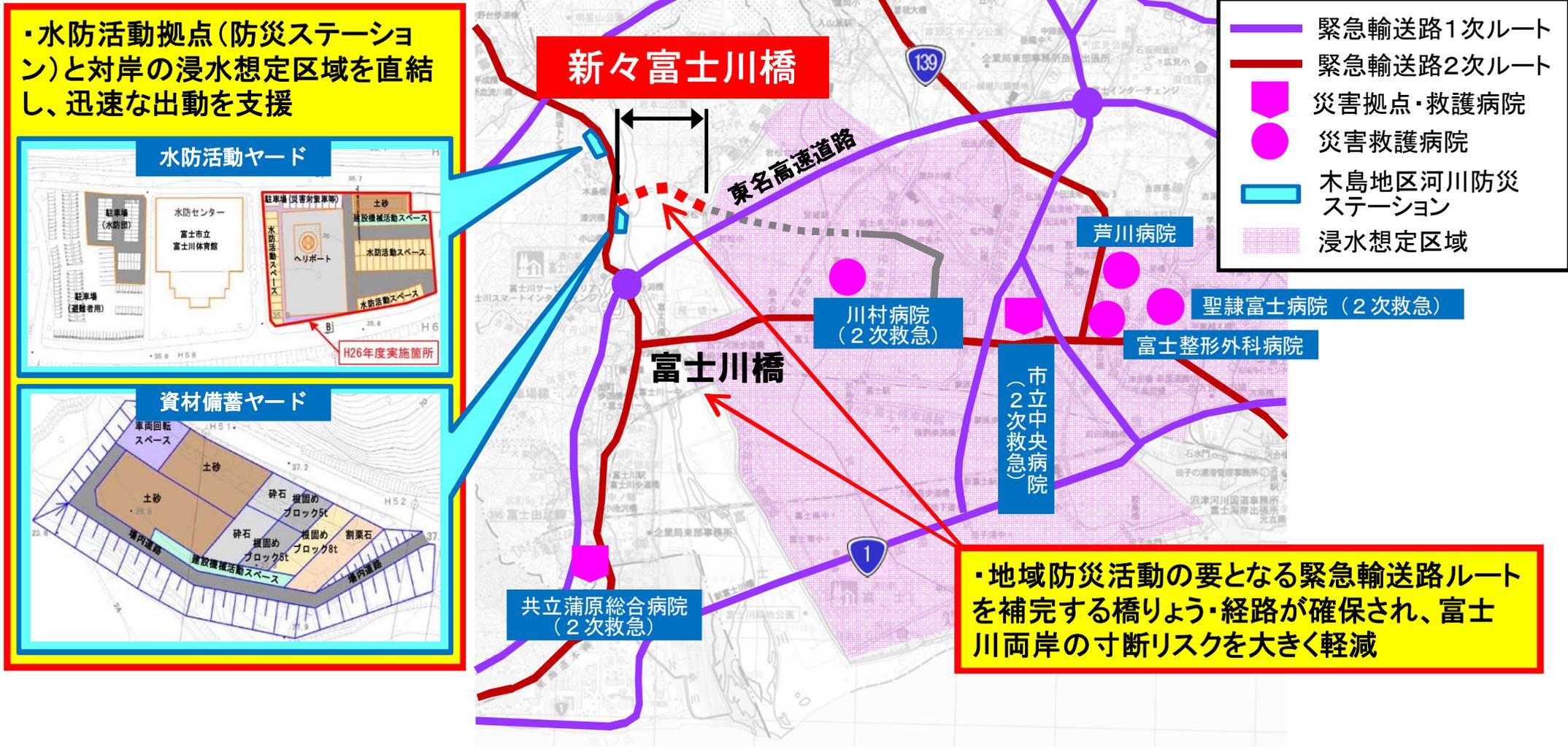
蒲原病院
(2次救急)

蒲原中方面

5. 事業の投資効果(B/Cに現れない効果)

3 防災基盤の強化

・富士川木島地区河川防災ステーションに直結する、緊急輸送路を補完するルートが確保され、水害、震災時の防災活動に大きく寄与する



6. 対応方針（案）とその理由

本事業は、

- ・地域内交流が円滑になり、緊急医療時の搬送の迅速化に寄与する。
- ・公共交通の定時性向上、防災基盤の強化に寄与する。

以上から、事業効果が大い。



事業を継続し、早期完成を図る。